

「J-MICC 研究—千葉地区—」を通じて日本多施設共同コホート研究（J-MICC Study）に参加いただいた方へ

当施設では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	JaCALS および J-MICC 研究における既存試料を用いた筋萎縮性側索硬化症のゲノムワイド関連解析
研究機関名及び 研究機関の長 (試料・情報の管理 責任者)	千葉県がんセンター 病院長 加藤 厚
研究責任者	道端申明
試料・情報の利用目的及び利用方法	〔利用目的〕 筋萎縮性側索硬化症（ALS）の発症、進行、予後に関連する遺伝子、遺伝子多型を探索同定して、ALS の病態解明、治療開発に資する解析を行います。そのために J-MICC Study における既存の網羅的遺伝子多型（SNP アレイ）データを正常対照データとして利活用します。 〔対象となる患者さん〕 「J-MICC 研究—千葉地区—」において、2005 年 6 月以降、J-MICC 研究—千葉地区—」を通じて日本多施設共同コホート研究（J-MICC Study）に参加いただいた方の中で、研究実施期間内に改めて倫理審査を受けた J-MICC Study 以外の他研究に、符号化したデータ、血液、尿、DNA などの試料が提供されることに文書による同意をした方。 〔研究期間〕 研究実施承認日 ～ 2030 年 3 月 31 日 〔利用方法〕 JaCALS は ALS の発症、進行、予後に影響を及ぼす遺伝的な因子を明らかにすることを目的の一つとしています。ALS の発症等に関わる遺伝子は、ALS の病態を明らかにし、治療開発を進める重要な手がかりになります。その探索のために、JaCALS で蓄積された ALS 患者さん最大 2000 例の遺伝子検体を用いて、網羅的遺伝子多型データが蓄積されています。この情報を健常人多数例の網羅的遺伝子多型データ（正常対照データ）と比較解析することにより、ALS に関連する遺伝子多型を探索同定することができます。解析例数が多いほど、この解析の精度を上げることができます。そのため、より多数の正常対照データを解析に用いる必要があります。J-MICC study

	で蓄積された最大 15000 例の健常人ゲノム情報を解析のための健常対照群の一部として利用します。 研究計画についての問い合わせは下記「問い合わせ先」に御連絡ください。 〔他の機関へ提供される場合はその方法〕 なし
利用又は提供する試料・情報の項目	情報：J-MICC Study に既に蓄積された臨床情報、ゲノム情報
試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	千葉県がんセンター・病院長・加藤厚 愛知県がんセンター・総長・山本一仁 名古屋大学大学院医学系研究科・医学系研究科長・木村宏 京都府立医科大学・学長・夜久均 佐賀大学医学部・医学部長・野出孝一 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科・研究科長・橋口照人 静岡県立大学・学長・今井康之
提供する試料・情報の取得の方法	J-MICC Study において既に取得、蓄積された情報。
提供する試料・情報を用いる研究に係る研究機関名・研究責任者名	<JaCALS 共同研究機関> 名古屋大学大学院医学系研究科神経内科学・教授・勝野雅央 自治医科大学内科学講座神経内科学部門/附属病院リハビリテーションセンター・教授・森田光哉 東北大学大学院医学系研究科・教授・青木正志 新潟大学脳研究所脳神経内科・寄付研究部門 脳神経疾患先端治療研究部門 特任准教授・石原智彦 東京都立神経病院脳神経内科・副院長・清水俊夫 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター脳神経内科・副院長・小尾智一 国立病院機構東名古屋病院・院長・饗場郁子 東京科学大学 教育研究組織 大学院 医歯学専攻・認知行動医学講座 脳神経病態学分野・教授・横田隆徳 東京大学医学部附属病院脳神経内科・教授・戸田達史 国立病院機構相模原病院・統括診療部/脳神経内科医師・臨床研究センター/神経難病研究室長・長谷川一子 三重大学医学部附属病院脳神経内科・大学院担当助教・田村麻子 徳島大学大学院医歯薬学研究部臨床神経科学分野・教授・和泉唯信 国立病院機構鈴鹿病院脳神経内科・院長・久留聡 医療法人社団西日本平郁会 神経内科クリニック・医師・藤田拓司 北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野神経内科学教室・教授・矢部一郎 群馬大学医学部附属病院・大学院医学系研究科脳神経内科学教授・池田佳生 国立病院機構宮城病院・脳神経内科部長・松本有史 微風会ビハーラ花の里病院・副院長/脳神経内科部長・織田雅也

	国立精神・神経医療研究センター・病院 脳神経内科診療部長／特命副院長・高橋祐二 岡山大学病院脳神経内科・教授・石浦浩之 京都府立医科大学大学院医学研究科脳神経内科学・講師・能登祐一 順天堂大学医学部附属順天堂医院脳神経内科・主任教授・服部信孝 京都大学医学部附属病院脳神経内科・助教・綾木孝 東邦大学医学部内科学講座神経内科学分野・教授・狩野修 山梨大学医学部神経内科学講座・准教授・新藤和雅 鳥取大学医学部医学科脳神経医科学講座脳神経内科学分野・教授・花島律子 国立病院機構東京病院・神経内科医師・中村美恵 九州大学大学院医学研究院神経内科学分野・准教授・山崎亮 千葉大学医学部附属病院脳神経内科・教授・桑原聡 東京医科大学病院脳神経内科・主任教授・赫寛雄 横浜市立大学附属病院脳神経内科/脳卒中科・主任教授・田中章景 国立病院機構静岡医療センター脳神経内科・副院長・溝口功一 佐賀大学医学部附属病院内科学講座脳神経内科・教授・小池春樹 福島県立医科大学医学部脳神経内科学講座・教授・金井数明 国立病院機構医王病院脳神経内科・医師・駒井清暢 滋賀医科大学内科学講座脳神経内科・教授・漆谷真 福岡大学医学部・教授・馬場康彦 大阪大学医学部附属病院神経内科・教授・望月秀樹 産業医科大学神経内科学・教授・足立弘明 特定医療法人久会凶南病院脳神経内科・部長・沖良祐 国際医療福祉大学熱海病院脳神経内科・教授・竹内英之 国際医療福祉大学市川病院神経難病センター・脳神経内科・教授・荻野美恵子 東北大学東北メディカル・メガバンク機構・客員教授・峯岸直子 徳島大学研究支援産官学連携センター研究推進部門・特任教授・梶龍兒 理化学研究所生命医科学研究センター骨関節疾患研究チーム・チームリーダー・池川志郎 理化学研究所生命医科学研究センターゲノム解析応用研究チーム・チームリーダー・寺尾知可史 理化学研究所生命医科学研究センター基盤技術開発研究チーム・チームリーダー・桃沢幸秀 横浜市立大学医学部医学科遺伝学・教授・松本直通 大阪大学大学院医学系研究科遺伝統計学・教授・岡田随象 東京科学大学 教育研究組織 大学院 医歯学専攻・環境社会医歯学講座 臨床統計学分野・教授・平川晃弘 東京科学大学 教育研究組織 総合研究院 難治研・バイオデータ科学研究部門 ゲノム機能多様性分野・教授・高地雄太 聖マリアンナ医科大学脳神経内科・特任教授・三橋里美
--	---

	京都大学 iPS 細胞研究所・教授・井上治久 九州大学生体防御医学研究所高深度オミクスサイエンスセンターバイオメディカル情報解析分野・教授・長崎正朗 東海国立大学機構名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻実社会情報健康医療学・准教授・中枋昌弘 九州大学生体防御医学研究所・教授・大川恭行 九州大学情報基盤研究開発センター・教授・美添一樹 国立国際医療研究センター疾患ゲノム研究部・室長・人見祐基 慶應義塾大学医学部生理学・教授・岡野栄之 <J-MICC 施設> 千葉県がんセンター研究所がん予防センター・室長・道端伸明 愛知県がんセンター研究所がん予防研究分野・分野長・松尾恵太郎 名古屋大学大学院医学系研究科予防医学分野・准教授・田村高志 名古屋大学大学院医学系研究科予防医学分野・講師・永吉真子 京都府立医科大学大学院医学研究科地域保健医療疫学・教授・高嶋直敬 佐賀大学医学部社会医学講座予防医学分野・准教授・原めぐみ 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科疫学予防医学分野・教授・郡山千早 静岡県立大学食品栄養科学部公衆衛生学研究室・教授・栗木清典 ただし、共同研究機関や責任者が追加される可能性があります。
利用する者の範囲	上記共同研究機関
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2030 年 3 月 31 日までに下記問い合わせ先まで、電話もしくは郵送で申し出てください。ただし、希望を表明いただいた時点で、既に解析結果が発表されていたり、提供者に結び付けることのできない形で符号化された後であったりする場合、情報の利用や提供を中止することはできません。
問い合わせ先	研究責任者 千葉県がんセンター研究所がん予防センター 道端伸明 〒260-8717 千葉市中央区仁戸名町 666-2 TEL 043-264-5431（代表番号）